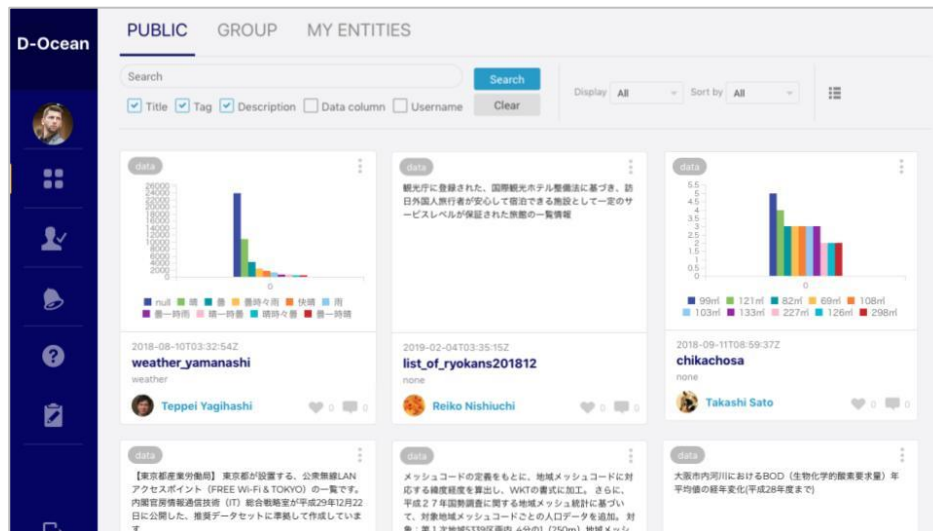


2019年2月14日
株式会社ディーオーシャン

～データを介してユーザー同士と交流！世界中の巨大データストレージをユーザーが構築～
ディーオーシャン
世界初※！SNS機能を搭載した人とデータを結ぶプラットフォーム『D-Ocean』

完全無料！本日2月14日よりオープンベータ版のサービス提供を開始

株式会社ディーオーシャン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山本 圭）は、様々なデータを投稿し、ユーザー同士で交流可能な SNS 機能を持つ、世界初※のソーシャル・データ・プラットフォーム『D-Ocean（ディーオーシャン）』のオープンベータ版のサービス提供を、2019年2月14日（水）より開始いたします。



< 『D-Ocean』 URL⇒ <https://sdp.docean.io/v1/console?p=login> >

■あらゆるデータを介して人と交流できるソーシャル・データ・プラットフォーム『D-Ocean』

『D-Ocean』は、「Data Marketplace（データマーケットプレイス）」と「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）」を融合させた“人とデータが出逢えるソーシャル・データ・プラットフォーム”です。『D-Ocean』の利用は無料。ユーザーは、『D-Ocean』上のデータを検索し、必要なデータを取得できるだけでなく、自分のデータや分析で整形したデータなどを『D-Ocean』に投稿しユーザー同士の交流が可能です。

■日本政府が「官民データ活用推進基本法」を制定、「オープンデータ」有効活用は社会課題

世の中には衣・食・住にまつわるデータはもちろんのこと、気象、交通、教育、医療など、あらゆる分野のデータが存在しています。しかしそのフォーマットや取得可能な場所は様々であり、各データを探し出し、比較・分析をすることに時間を要してしまいます。2016年には日本政府が、「官民データ活用推進基本法」を制定し、公共データの公開・活用する取り組みを推進。「データの有効活用」は、社会全体の活動において今後、重要な役割を果たしていくことが期待されます。

■『D-Ocean』投稿データは整形済みフォーマットのみ。多数のオープンデータを検索、即時に比較可能

『D-Ocean』へは整形済みのデータのみが投稿可能なため、誰もがすぐに活用できる状態に整えられています。また、ユーザー同士がデータを介して交流できることにより、データ分析の依頼や、追加データのリクエストなども可能。個人や企業、自治体における活動において、新しい可能性を広げていきます。

■『D-Ocean』は2020年までに「1万ユーザー・10万データ」が目標

『D-Ocean』は、単なるデータ同士の出逢いだけでなく、その活用を求める人々の出逢いや、データに対するニーズと提供者の出逢いを創出する「データ交換のための SNS」を目指しています。2020年までに「1万ユーザー・10万データ」を目標とし、将来は日本国内だけではなく世界中のデータ、ユーザーと交流できるようなデータプラットフォームを創出してまいります。

※・・・2019年1月時点の（株）ディーオーシャン調べ

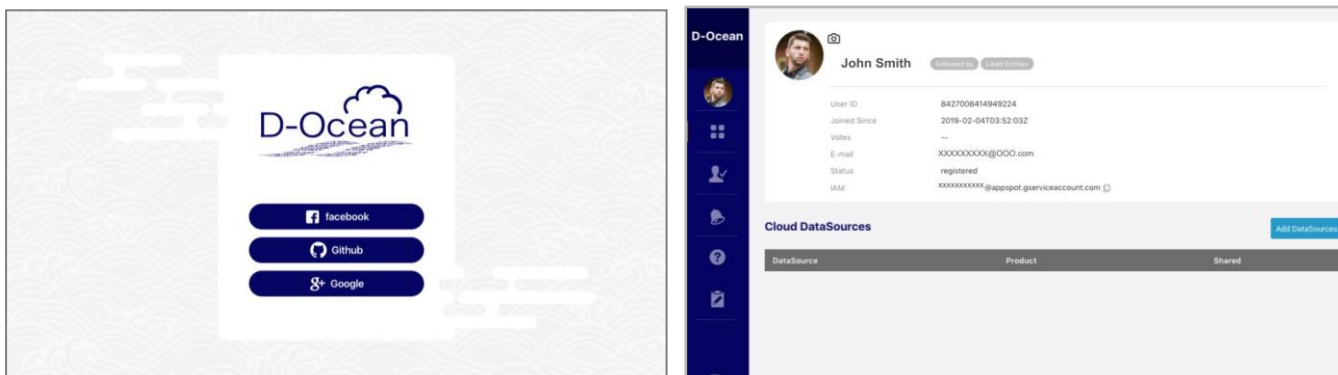
ソーシャル・データ・プラットフォーム『D-Ocean』概要

<ポイント>

1. 様々なオープンデータを利用・投稿できるプラットフォーム
2. データを介し、人同士の交流が安全・迅速に可能
3. データ・AI人材の発見、交流、育成が可能

<利用方法>

- ・ Facebook, Google, Github のアカウントでユーザー登録
- ・ 完全無料



▲Facebook, Google, Github のアカウントでユーザー登録。信頼度の高いユーザーと交流が可能

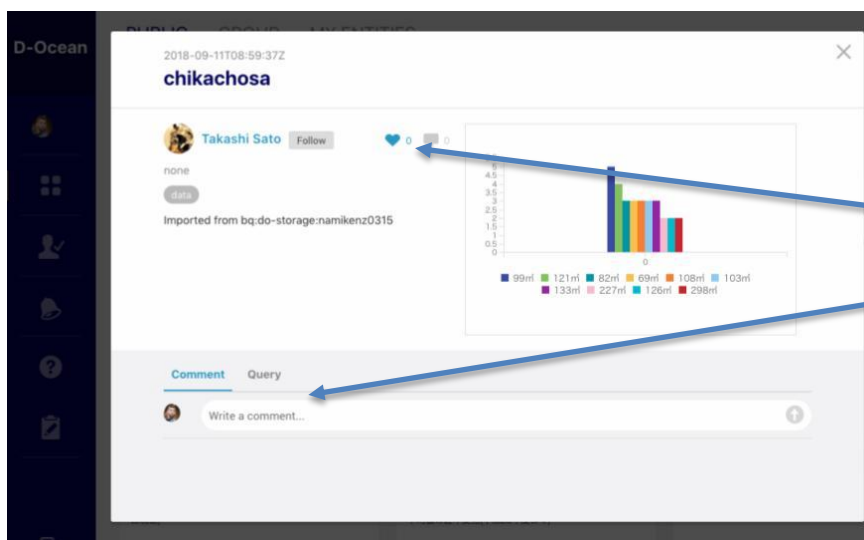
<機能の紹介>

●データプラットフォーム機能

- ・ データアップロード機能：自分のデータを D-Ocean へ格納可能
- ・ 検索機能：欲しいデータをキーワードで検索、簡単にアクセス
- ・ リクエスト機能：欲しいデータやお探しのデータがない場合は、他ユーザーへリクエストが可能
- ・ クラウド連携：データはご自分の分析環境へインポートが可能
- ・ ストリームデータ格納：急激に増加したり、流動しているストリームデータもリアルタイムで格納可能
- ・ 分析しやすいデータ：フォーマットが統一されているデータのため、即座に活用可能
- ・ クエリー機能：データの内容をインポートする前にデータの中身が確認可能

●ソーシャル機能

- ・ ユーザーページ機能：プロフィールや投稿データなどが確認可能
- ・ 評価機能：データに対して「ハートマーク」で評価可能。投稿者に関する信頼度の目安となる
- ・ フォロー機能：興味のあるユーザーをフォロー、また、フォロワーの投稿チェックが可能
- ・ 通知機能：フォローしたユーザーの到着を随時チェック



ユーザーの信頼度評価として
投稿したデータに対し
ハートマークの「いいね」を
つけることが可能

また、コメントを投稿し、交流も可能

< 『D-Ocean』 の活用シーン・例 >

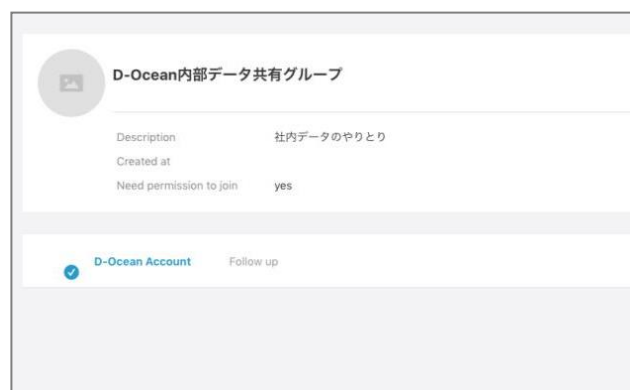
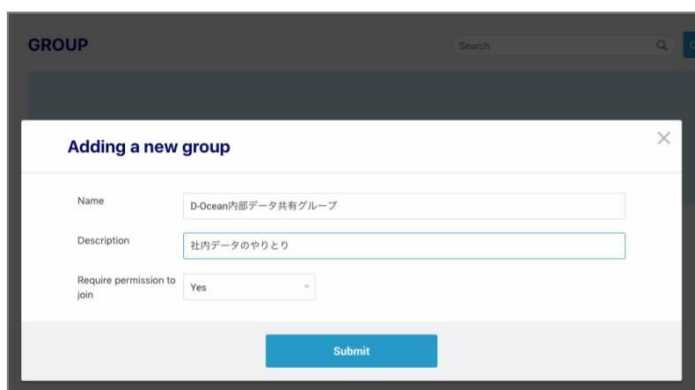
- ・データの検索、不揃いなデータフォーマットの統一に時間を要し、本来の分析業務が出来ない時
- ・欲しい、または必要なデータが見つからない時（検索、他ユーザーへデータのリクエスト）
- ・個人や社内で所有するデータを活用してくれる企業・個人と連携し、ビジネスをしたい時
- ・個人、または企業間で安全かつスムーズにデータのやり取りをしたい時（グループ機能）
- ・データ分析のスペシャリスト「データサイエンティスト」を必要としている時（人材採用）



▲他ユーザーへデータのリクエストが可能



▲データ検索機能



▲特定のユーザーだけでやり取りできる場所「グループ機能」

< サービス概要 >

- ・サービス名：D-Ocean（ディーオーシャン）
- ・サービス開始日：2019年2月14日（木） ※オープンベータ版
- ・利用料金：無料
- ・URL：<https://sdp.docean.io/v1/console?p=index>

■株式会社ディーオーシャン 概要

「人とデータの出会いを、もっと自由に。」をスローガンに掲げ、誰もがより良いデータを活用できる社会の実現を目的として、2017年4月に設立。世界初※のソーシャル・データ・プラットフォーム『D-Ocean』は、データ同士の出逢いだけでなく、活用できる人々との出逢いや、データへのニーズや供給者の出逢いも演出するプラットフォームを目指します。

会社名：株式会社ディーオーシャン

所在地：〒162-0065 東京都新宿区住吉町 5-7-406

事業内容：ソーシャル・データ・プラットフォーム事業、コンサル事業

代表取締役：山本 圭

URL：<http://www.docean.io/>

※『D-Ocean』は、株式会社ディーオーシャンの商標または登録商標です。

※その他会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。